

戯曲づくり講座

(一般・学生)

こうして戯曲はつくられる!?

【講師】くらもちひろゆき 【参加費】2,000円(学生1,000円)
 【定員】10名
 【日時】29日(土)9:00～18:00／30日(日)9:00～12:00
 全体発表 12:30～
 【内容】戯曲の構造を紐解きながら、発想や作劇のトレーニングを体験して、小さな作品を書いてみよう。最終日には自身のリーディングで発表します。※動きやすい服装でご参加下さい。

●プロフィール――



くらもちひろゆき Hiroyuki Kuramochi
 1966年茨城県坂東市生まれ。岩手県盛岡市在住。寺や産婦人科、保育園など、人生の節目に関わったり関わらなかつたりする場所を舞台に、重箱の隅をつつくような会話を得意とする。2005年より演劇ワークショップファシリテーターとして、岩手県内各地の小中学校で出前ワークショップを行う。日本劇作家協会東北支部長。もりげき演劇アカデミー講師。架空の劇団代表。

芝居づくり講座Ⅰ

(高校生)

こうして芝居はつくられる!?

【講師】日澤雄介 【参加費】1,000円 【定員】10名
 【日時】28日(金)19:00～21:00／29日(土)9:00～18:00／
 30日(日)9:00～12:00 全体発表 12:30～
 【内容】発表会を目指して、参加者が作品を創ります。刺激的な3日間になりそう。

●プロフィール――



日澤雄介 Yusuke Hisawa
 演出家、俳優。劇団チョコレートケーキ主宰。2000年劇団チョコレートケーキ旗揚げ。2010年より演出を務める。俳優に飾らせないストレートな演出は、淡々としながらも重厚な作品世界を体感できる空間を打ち出す。2014年、劇団チョコレートケーキ『治天ノ君』で第21回読売演劇大賞・選考委員特別賞、優秀演出家賞を受賞した。

ごあいさつ

被災地の福島県立いわき総合高校による原発問題を扱った演劇公演が注目された。このように、演劇には人生や社会を考え、地域と人をつなぐエネルギーがあり、環境に影響されるのではなく、環境に影響を与えることができる芸術だ。

各地へ情報を発信し続けている「さくらホール」で、演劇大学が三か年継続の予定で開催されることの意義は大きい。これがきっかけで、この地に演劇文化が根付き、地域コミュニティ形成に新しい息吹をもたらしたら嬉しい限りだ。

演劇大学 in きたかみ実行委員会委員長 **新田 満** (日本演出者協会会員)

芝居づくり講座Ⅱ

(一般)

こうして芝居はつくられる!?

【講師】和田喜夫 【参加費】2,000円 【定員】10名
 【日時】28日(金)19:00～21:30／29日(土)9:00～18:00／
 30日(日)9:00～12:00／全体発表 12:30～
 【内容】発表会を目指して、参加者が作品を創ります。刺激的な3日間になりそう。

●プロフィール――



和田喜夫 Yoshio Wada
 1951年山口県下関生まれ。早稲田大学在学中より演出を始め、文学座養成所を経て、1982年から11年間、劇作家・岸田理生との共同作業を続ける。92年オーストラリアのアデレード、パース国際演劇祭で『糸地獄』を上演し絶賛を得る。01年よりオーストラリアやカナダ先住民の劇作家との共同作業を始める。「在日」の演劇人との共同作業も多い。代表作『糸地獄』、『居留地姉妹』『ウィンドミル・ベイビー』等。演劇企画集団楽天団代表。日本演出者協会理事長。

舞台美術体験講座

(一般・学生)

こうして美術はつくられる!?

【講師】内山 勉 【参加費】2,000円(学生1,000円)
 【定員】10名
 【日時】29日(土)9:00～17:00／30日(日)9:00～12:00
 【内容】自らの物語を作り、そのワンシーンのセットをデザインし模型を製作、展示します。

●プロフィール――



内山 勉 Ben Uchiyama
 舞台美術、舞台監督。プレヒトの研究を中心に活動。ペルリーナ・アンサンブルへ研修。『復活』『カラマーゾフの兄弟』『どん底』など千田是也演出。「アドルフに告ぐ」「人間ども集まれ」など手塚治虫作品。イブセン全作品連続公演。ドラえもんミュージカル、俳優座、前進座、岩手ぶどう座。第35回伊藤嘉作賞奨励賞。海外公演の技術監督。国際演劇フェスティバル総合舞台監督。西和賀町文化創造館建設に設計段階から参加。銀河ホール地域演劇祭。日本舞台美術家協会、日本舞台監督協会理事。

身体表現講座

(一般・学生)

身体で伝わる!?

【講師】田畑真希 【参加費】1,500円(学生500円)
 【定員】15名
 【日時】29日(土)13:00～17:00／
 30日(日)9:00～12:00／全体発表 12:30～
 【内容】一人一人の個性を生かして、遊びながら楽しみながら身体を動かすことは誰にでもできます。2日間を通して舞台上に立つための身体の見せ方、動き方、伝え方を実践してみましよう。※裸足で行います。動きやすい服装でご参加下さい。

●プロフィール――



田畑真希 Maki Tabata
 タバマ企画主宰。3歳からクラシックバレエを始める。高校生の頃、トゥシューズを履いて踊ることに疑問を感じ、更なる表現を追及するため桐朋学園短期大学演劇科に入学。様々なジャンルの身体表現を学ぶ。滑稽なまでにガムシャラに、ユーモアを散りばめながら丁寧に時間を紡ぐ作風には定評があり、7カ国15都市にて作品を上演し好評を得る。近年は様々な世代を対象としたワークショップを展開し、性別、年齢、経験などの差異を超えて、誰もが楽しみながら出来る身体表現の促進を目指す。

リーディング講座

(一般・学生)

賢治を読む!

【講師】ふじたあさや 【参加費】1,000円(学生500円)
 【定員】20名 【日時】30日(日)9:00～12:00
 【内容】宮澤賢治の作品「とっこべとら子」をテキストにリーディングの可能性に迫ります。

●プロフィール――



ふじたあさや Asaya Fujita
 1934年東京生。劇作家・演出家。1953年に福田善之と合作で『富士山麓』を発表。放送作家をへて、三十人会を皮切りに劇作・演出で活躍。代表作に『日本の教育1960』(三十人会)、『さんしょう太夫』(前進座)、『臨界幻想』(青年劇場)、作演出に『しのだづま考(芸術祭賞受賞)』(京楽座)、児童劇・ミュージカル・オペラなど多分野で活躍。ロシア・中国・韓国とも合作、地域演劇にも貢献。日本演出者協会元理事長。アシテジ(世界児童青少年舞台芸術協会)副会長。

●演劇大学とは、日本演出者協会が演劇の振興の一環として、国内外で活躍する演出家を招き、短期集中的にセミナーやワークショップを日本各地で開催しています。演劇を創り、勉強し、語り合うプログラムを実施し、発表会など行います。年齢、経験を問わず、演劇の幅広さと奥深さを体験できる機会となっています。

シンポジウム

無料

市・町民劇場の未来

【日時】30日(日)14:30～15:30
 【内容】岩手県内で盛んに行われている地元の歴史・文化を活かした芝居づくりをテーマにした「市・町民劇場」の実態と今後の展望を語り合います。
 【パネリスト】くらもちひろゆき(劇団モリオカ市民実行委員会会長)
 菅原伴耕(遠野物語ファンタジー制作委員会委員長)
 高橋 茂(北上市民劇場を盛り上げる会やっぺし会長)
 高橋光世(にしわが町民劇場事務局)
 ふじたあさや(日本演出者協会元理事長)
 【コーディネーター】新田 満(特定非営利活動法人「芸術工房」理事長)

観 劇

無料

黒沢尻歌舞伎を観よう!

～バックステージやお支度(床山・化粧・着付)、早替えも見せます!～

伊勢音頭恋の刃【いせおんどこいのやいば】

黒沢尻歌舞伎保存会

【日時】支度見学 29日(土)17:00～／上演 19:30～20:45
 ～アフタートーク&交流会

●あらすじ――

伊勢の御師(下級の神官)福岡貢は、旧主今田万次郎の探す青江下坂の刀を手に入れるが、折紙(鑑定書)が手に入らない。恋人の酒屋遊女お紺は、その折紙を手に入れんが為に徳島岩次という客になびいてみせます。信じていた女に愛想をつかされた貢は、自分を陥れた人々を次々と殺害に及び…。

白緋の着物を血に染めた二枚目が、うつろな表情で刀を振り回す。凄惨にしてなまめかしい姿は、「滅びの美」とも呼べる世界でしょう。

●プロフィール――

黒沢尻歌舞伎保存会

明治40年～昭和10年代、黒沢尻で盛んだった「村歌舞伎」の復活保存をしようと昭和55年に保存会を結成。昭和60年には橋本稲荷社の縁日にて歌舞伎復活公演を果たす。以降、県内の地芝居団体との合同公演や単独公演を重ね、平成5年には「第8回国民文化祭岩手93」に出演。フランス・ドイツ等の海外公演も行った。北上展勝地の桜まつりで「おいらん道中」(平14～)、後継者育成としての「こども歌舞伎教室」(平18～22)など、精力的に活動している。平成25年には「岩手県芸術選奨」を受賞。今年9月、さくらホールにて30周年記念公演を行った。



9月公演「伊勢音頭恋の刃」

●講座の詳細は日本演出者協会にお問い合わせください。

